

日野市公営企業会計決算審査意見書



日 監 第 5 5 号

平成 2 5 年 (2013年) 8 月 2 2 日

日 野 市 長

大 坪 冬 彦 様

日野市監査委員 奥 住 壽

日野市監査委員 梅 田 俊 幸

平成 2 4 年度日野市公営企業会計決算
審査意見について

地方公営企業法(昭和 2 7 年法律第 2 9 2 号)第 3 0 条第 2 項の規定に基づき、
審査に付された平成 2 4 年度日野市立病院事業会計決算報告書、財務諸表及び関
係証書類について審査した結果、次のとおり意見を付します。

目 次

第 1	審査の概要	1
1	審査の対象	1
2	審査の期間	1
3	審査の手続	1
第 2	審査の結果	2
1	決算諸表について	2
2	経営状況について	2
(1)	収益的収入及び支出について	2
(2)	経営成績について	6
(3)	薬品及び貯蔵品について	1 2
3	資本的収入及び支出について	1 3
(1)	資本的収支状況について	1 3
(2)	建設改良工事について	1 4
(3)	有形固定資産の購入状況について	1 4
4	財政状況について	1 5
第 3	意見・要望等	2 0
参考		2 3

注 記

- イ 文中に用いる金額は原則として千円単位で表示し、単位未満を四捨五入した。
そのため、合計等と符合しない場合がある。
- ロ 比率(%)は、原則として小数点以下第2位を四捨五入した。
- ハ 構成比については、内訳の計が100.0%とならない場合がある。

平成24年度日野市公営企業会計決算 審 査 意 見 書

第1 審査の概要

1 審査の対象

平成24年度日野市立病院事業会計決算

2 審査の期間

平成25年6月11日から平成25年7月31日まで

3 審査の手続

この審査にあたっては、市長から審査に付された決算関係書類が、公営企業の経営成績及び財政状態を適正に表示しているかどうかを検証するため、諸会計帳票及び証書類との照合等、通常実施すべき手続により審査した。

なお、事業が経済性及び公共性の特質を生かしているかどうかを主眼として考察した。

第2 審査の結果

1 決算諸表について

審査に付された決算諸表は、地方公営企業法及び関係法令に準拠して作成され、病院事業の経営成績及び財政状態を適正に表示しているものと認められた。

2 経営状況について

(1) 収益的収入及び支出について

ア 病院事業収益は、表1に示すとおりである。

◎病院事業収益は、73億3,443万4千円で前年度71億2,698万6千円と比べ、2億744万9千円(2.9%)の増加となっている。

<対予算収入率94.5%>

○医業収益は、62億9,179万7千円で前年度60億2,792万円と比べ、2億6,387万6千円(4.4%)の増加となっている。

<対予算収入率93.5%>

・内訳は、入院収益40億7,362万4千円で前年度38億4,283万9千円と比べ、2億3,078万5千円(6.0%)の増加、外来収益19億8,666万1千円で前年度19億4,120万8千円と比べ、4,545万3千円(2.3%)の増加、その他医業収益2億3,151万2千円で前年度2億4,387万3千円と比べ、1,236万2千円(5.1%)の減少となっている。

○医業外収益は、10億4,082万3千円で前年度10億9,567万円と比べ、5,484万7千円(5.0%)の減少となっている。

<対予算収入率101.0%>

・主なものは、国庫補助金294万9千円で前年度300万7千円と比べ5万8千円(1.9%)の減少、都補助金4億3,297万7千円で前年度4億6,567万6千円と比べ、3,269万9千円(7.0%)の減少、負担金交付金4億9,192万7千円で前年度4億9,084万5千円と比べ、108万2千円(0.2%)の増加、その他医業外収益1億1,278万3千円で前年度1億186万6千円と比べ、1,091万7千円(10.7%)の増加、他会計補助金は0円で前年度3,414万6千円と比べ、皆減となっている。

○特別利益は、181万4千円で前年度339万5千円と比べ、158万1千円(46.6%)の減少となっている。

<対予算収入率36.3%>

表1

病院事業収益年度比較表

(単位：円：%)

区 分 科 目	平成24年度		平成23年度		対前年度	
	決算額 (A)	構成比	決算額 (B)	構成比	増減額 (A) - (B)	比率
病院事業収益	7,334,434,263	100.0	7,126,985,580	100.0	207,448,683	2.9
医業収益	6,291,796,621	85.8	6,027,920,325	84.6	263,876,296	4.4
入院収益	4,073,624,328	55.5	3,842,839,243	53.9	230,785,085	6.0
外来収益	1,986,660,687	27.1	1,941,207,600	27.2	45,453,087	2.3
その他 医業収益	231,511,606	3.2	243,873,482	3.4	△ 12,361,876	△ 5.1
医業外収益	1,040,823,280	14.2	1,095,669,808	15.4	△ 54,846,528	△ 5.0
受取利息 及び配当金	187,037	0.0	129,788	0.0	57,249	44.1
国庫補助金	2,949,000	0.0	3,007,000	0.0	△ 58,000	△ 1.9
都補助金	432,977,000	5.9	465,675,920	6.5	△ 32,698,920	△ 7.0
負担金交付金	491,927,000	6.7	490,845,000	6.9	1,082,000	0.2
その他 医業外収益	112,783,243	1.5	101,866,100	1.4	10,917,143	10.7
他会計補助金	0	0.0	34,146,000	0.5	△ 34,146,000	皆減
特別利益	1,814,362	0.0	3,395,447	0.0	△ 1,581,085	△ 46.6
過年度 損益修正益	1,814,362	0.0	3,395,447	0.0	△ 1,581,085	△ 46.6

イ 病院事業費用は、表2に示すとおりである。

◎病院事業費用は、74億5,723万円で前年度73億888万6千円と比べ、1億4,834万4千円（2.0%）の増加となっている。

＜対予算執行率96.0%＞

○医業費用は、72億7,623万6千円で前年度71億2,108万9千円と比べ、1億5,514万8千円（2.2%）の増加となっている。

＜対予算執行率96.0%＞

・主なものは、給与費36億346万6千円で前年度35億1,631万1千円と比べ、8,715万5千円（2.5%）の増加、材料費14億9,214万1千円で前年度14億2,712万9千円と比べ、6,501万2千円（4.6%）の増加、経費15億9,623万9千円で前年度16億5,374万6千円と比べ、5,750万7千円（3.5%）の減少、減価償却費5億5,408万4千円で前年度4億9,814万2千円と比べ、5,594万2千円（11.2%）の増加となっている。

○医業外費用は、1億7,883万9千円で前年度1億8,566万5千円と比べ、682万6千円（3.7%）の減少となっている。

＜対予算執行率98.1%＞

・主なものは、支払利息1億6,955万5千円で前年度1億7,655万円と比べ、699万5千円（4.0%）の減少となっている。

○特別損失は、215万5千円で前年度213万3千円と比べ、2万2千円（1.0%）の増加となっている。

＜対予算執行率43.1%＞

・特別損失の内訳は、過年度損益修正損215万5千円で前年度213万3千円と比べ、2万2千円（1.0%）の増加となっている。

表 2

病院事業費用年度比較表

(単位：円：%)

区 分 科 目	平成 2 4 年度		平成 2 3 年度		対 前 年 度	
	決 算 額 (A)	構 成 比	決 算 額 (B)	構 成 比	増 減 額 (A) - (B)	比 率
病院事業費用	7,457,230,057	100.0	7,308,886,234	100.0	148,343,823	2.0
医業費用	7,276,236,298	97.6	7,121,088,570	97.4	155,147,728	2.2
給与費	3,603,466,206	48.3	3,516,310,792	48.1	87,155,414	2.5
材料費	1,492,141,260	20.0	1,427,129,421	19.5	65,011,839	4.6
経費	1,596,239,251	21.4	1,653,746,016	22.6	△ 57,506,765	△ 3.5
減価償却費	554,083,944	7.4	498,141,960	6.8	55,941,984	11.2
資産減耗費	11,305,527	0.2	7,964,457	0.1	3,341,070	41.9
研究研修費	19,000,110	0.3	17,795,924	0.2	1,204,186	6.8
医業外費用	178,839,141	2.4	185,664,721	2.5	△ 6,825,580	△ 3.7
支払利息	169,554,941	2.3	176,549,921	2.4	△ 6,994,980	△ 4.0
消費税及び 地方消費税	9,284,200	0.1	9,114,800	0.1	169,400	1.9
特別損失	2,154,618	0.0	2,132,943	0.0	21,675	1.0
過年度 損益修正損	2,154,618	0.0	2,132,943	0.0	21,675	1.0

ウ 診療報酬の請求と審査減の状況は、表3に示すとおりである。

病院事業収益の中心は診療報酬であり、診療機関が保険者（社会保険診療報酬支払基金等）に請求し、審査委員会の審査を経て収入されるものであるが、審査委員会の査定により減点されることがある。なお、審査減については、見直し後再請求している。

表3

年度別診療報酬請求と審査減の状況

入院

区分		平成24年度	平成23年度	平成22年度
請求	件数	8,503	8,402	8,717
	点数	408,116,854	382,988,927	386,753,019
審査減	件数	429	152	204
	点数	697,491	293,653	192,074
請求に対する 審査減の割合(%)	件数	5.0	1.8	2.3
	点数	0.17	0.08	0.05

外来

区分		平成24年度	平成23年度	平成22年度
請求	件数	120,889	126,456	148,792
	点数	201,054,511	193,628,100	205,634,734
審査減	件数	2,644	2,167	2,016
	点数	561,597	438,161	513,498
請求に対する 審査減の割合(%)	件数	2.2	1.7	1.4
	点数	0.28	0.23	0.25

(2) 経営成績について

ア 比較損益計算書（税抜き）は、表4に示すとおりである。

- ・ 医業損失は、8億5,091万6千円で前年度9億5,993万円と比べ1億901万4千円（11.4%）の減少となっている。
- ・ 経常損失は、1億2,245万6千円で前年度1億8,316万3千円と比べ、6,070万8千円（33.1%）の減少となっている。
- ・ 当年度純損失は、1億2,279万6千円で前年度1億8,190万1千円と比べ、5,910万5千円（32.5%）の減少となっている。

表 4

比較損益計算書

(単位：円：%)

科 目	平成 2 4 年度			平成 2 3 年度		平成 2 2 年度
	金 額	対前年度		金 額	対前年度 比率	金 額
		増 減 額	比 率			
医 業 収 益 (A)	6,279,660,158	265,056,547	4.4	6,014,603,611	△ 0.9	6,070,322,644
入 院 収 益	4,073,448,414	230,898,946	6.0	3,842,549,468	1.1	3,800,707,759
外 来 収 益	1,985,722,117	45,957,497	2.4	1,939,764,620	△ 5.8	2,059,693,114
その他医業収益	220,489,627	△ 11,799,896	△ 5.1	232,289,523	10.7	209,921,771
医 業 費 用 (B)	7,130,576,470	156,042,803	2.2	6,974,533,667	△ 1.6	7,084,449,583
給 与 費	3,602,157,820	86,814,824	2.5	3,515,342,996	4.0	3,379,552,927
材 料 費	1,421,086,916	61,916,037	4.6	1,359,170,879	△ 17.6	1,650,211,397
経 費	1,523,846,919	△ 53,117,955	△ 3.4	1,576,964,874	1.5	1,553,020,351
減価償却費	554,083,944	55,941,984	11.2	498,141,960	4.4	477,138,600
資産減耗費	11,305,527	3,341,070	41.9	7,964,457	△ 1.4	8,077,741
研究研修費	18,095,344	1,146,843	6.8	16,948,501	3.0	16,448,567
医業損益(C)=(A)-(B)	△ 850,916,312	109,013,744	△ 11.4	△ 959,930,056	△ 5.3	△ 1,014,126,939
医 業 外 収 益 (D)	1,036,272,643	△ 55,581,102	△ 5.1	1,091,853,745	7.1	1,019,237,942
受取利息及び配当金	187,037	57,249	44.1	129,788	△ 22.8	168,174
国庫補助金	2,949,000	△ 58,000	△ 1.9	3,007,000	△ 0.3	3,016,000
都 補 助 金	432,977,000	△ 32,698,920	△ 7.0	465,675,920	16.0	401,355,097
負担金交付金	491,927,000	1,082,000	0.2	490,845,000	△ 0.8	494,683,000
その他医業外収益	108,232,606	10,182,569	10.4	98,050,037	0.7	97,330,671
他会計補助金	0	△ 34,146,000	皆減	34,146,000	50.5	22,685,000
医 業 外 費 用 (E)	307,811,869	△ 7,274,978	△ 2.3	315,086,847	△ 5.9	334,731,522
支 払 利 息	169,554,941	△ 6,994,980	△ 4.0	176,549,921	△ 4.0	183,857,190
消 費 税	9,284,200	169,400	1.9	9,114,800	8.0	8,439,800
雑 損 失	128,972,728	△ 449,398	△ 0.3	129,422,126	△ 9.1	142,434,532
医業外損益(F)=(D)-(E)	728,460,774	△ 48,306,124	△ 6.2	776,766,898	13.5	684,506,420
経常損益(G)=(C)+(F)	△ 122,455,538	60,707,620	△ 33.1	△ 183,163,158	△ 44.4	△ 329,620,519
特 別 利 益 (H)	1,814,362	△ 1,581,085	△ 46.6	3,395,447	△ 48.1	6,537,222
過年度損益修正益	1,814,362	△ 1,581,085	△ 46.6	3,395,447	△ 48.1	6,537,222
特 別 損 失 (I)	2,154,618	21,675	1.0	2,132,943	△ 9.4	2,353,692
過年度損益修正損	2,154,618	21,675	1.0	2,132,943	△ 9.4	2,353,692
特別損益(J)=(H)-(I)	△ 340,256	△ 1,602,760	△ 127.0	1,262,504	△ 69.8	4,183,530
当 年 度 純 損 益 (K)=(G)+(J)	△ 122,795,794	59,104,860	△ 32.5	△ 181,900,654	△ 44.1	△ 325,436,989
前年度繰越利益剰余金	△ 6,907,437,019	△ 181,900,654	2.7	△ 6,725,536,365	5.1	△ 6,400,099,376
当年度未処理欠損金	7,030,232,813	122,795,794	1.8	6,907,437,019	2.7	6,725,536,365

イ 病院利用状況は、表5に示すとおりである。

表5

病院利用状況等年度比較表

区 分			平成24年度	平成23年度	平成22年度	対前年度 増減率 (%)	備 考	
病 床 数			床 300	床 300	床 300	0.0		
病 床 利 用 率			% 80.1	% 80.9	% 78.8	△ 0.8	(A) / 年延病床数 × 100	
患 者 数	入 院	年 間	人 87,705	人 88,802	人 86,332	△ 1.2	年延入院患者数 (A)	
		一 日 平 均	人 240.3	人 242.6	人 236.5	△ 0.9	(A) / 入院診療日数 (B)	
	外 来	年 間	人 207,342	人 207,450	人 202,427	△ 0.1	年延外来患者数 (C)	
		一 日 平 均	人 846.3	人 850.2	人 833	△ 0.5	(C) / 外来診療日数 (D)	
	合 計	年 間	人 295,047	人 296,252	人 288,759	△ 0.4		
		一 日 平 均	人 1,086.6	人 1,092.8	人 1,069.5	△ 0.6		
	外 来 ・ 入 院 患 者 率 比			% 236.4	% 233.6	% 234.5	2.8	(C) / (A) × 100
	職 員 一 人 当 たり 患 者 数	医 師	入 院	人 5.1	人 5.5	人 5.4	△ 7.3	(A) / 年延医師数
			外 来	人 12.2	人 12.9	人 12.6	△ 5.4	(C) / 年延医師数
		看 護 部 門 職 員	入 院	人 1.3	人 1.2	人 1.2	8.3	(A) / 年延看護部門職員数
外 来			人 3.0	人 2.9	人 2.8	3.4	(C) / 年延看護部門職員数	
対 医 業 収 益 比	材 料 費	薬 品 費	% 13.6	% 13.5	% 17.2	0.1	薬品費 / 医業収益 × 100	
		診 療 材 料 費	% 9.1	% 9.2	% 10.4	△ 0.1	診療材料費 / 医業収益 × 100	
		そ の 他 医 療 材 料 費	% 0.9	% 1.0	% 1.0	△ 0.1	その他医療材料費 / 医業収益 × 100	
		合 計	% 23.6	% 23.7	% 28.5	△ 0.1	医療材料費 / 医業収益 × 100	
	給 与 費		% 57.3	% 58.3	% 55.6	△ 1.0	給与費 / 医業収益 × 100	

ウ 診療科別利用状況は、入院(表6)、外来(表7)に示すとおりである。

表6

診療科別利用状況年度比較表

入 院

(単位：人：%：点)

区 分 科 別	平成24年度				平成23年度				対前年度 延患者数 増減率
	延患者数	構成比	収入点数	構成比	延患者数	構成比	収入点数	構成比	
内 科	28,540	32.5	110,307,020.0	27.1	31,828	35.8	112,169,422.2	29.2	△ 10.3
循 環 器 科	8,902	10.1	45,667,334.2	11.2	9,059	10.2	46,699,420.9	12.2	△ 1.7
小 児 科	4,731	5.4	21,667,000.7	5.3	4,186	4.7	18,394,597.7	4.8	13.0
外 科	15,593	17.8	83,860,503.0	20.6	13,939	15.7	69,619,755.7	18.1	11.9
整 形 外 科	16,527	18.8	78,224,428.7	19.2	17,817	20.1	78,852,573.3	20.5	△ 7.2
脳 神 経 外 科	1,774	2.0	8,793,154.3	2.2	0	0.0	0.0	0.0	皆増
皮 膚 科	678	0.8	2,425,978.6	0.6	787	0.9	2,538,771.3	0.7	△ 13.9
泌 尿 器 科	3,369	3.8	14,343,275.1	3.5	3,010	3.4	12,915,828.8	3.4	11.9
産 婦 人 科	4,637	5.3	25,389,097.0	6.2	4,750	5.3	25,151,633.2	6.5	△ 2.4
眼 科	862	1.0	5,007,089.2	1.2	1,105	1.2	6,267,636.2	1.6	△ 22.0
耳 鼻 咽 喉 科	1,647	1.9	9,788,945.1	2.4	1,676	1.9	9,141,086.3	2.4	△ 1.7
歯 科 口 腔 外 科	356	0.4	1,643,064.7	0.4	408	0.5	1,579,875.8	0.4	△ 12.7
放 射 線 科	0	0.0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
麻 酔 科	89	0.1	245,542.2	0.1	237	0.3	953,322.9	0.2	△ 62.4
合 計	87,705	100.0	407,362,432.8	100.0	88,802	100.0	384,283,924.3	100.0	△ 1.2

表 7

診療科別利用状況年度比較表

外 来

(単位：人：%：点)

区 分 科 別	平成24年度				平成23年度				対前年度 延患者数 増減率
	延患者数	構成比	収入点数	構成比	延患者数	構成比	収入点数	構成比	
内 科 (透析含む)	50,494	24.4	72,406,124.8	36.4	48,674	23.5	68,412,603.0	35.2	3.7
循 環 器 科	10,211	4.9	10,842,507.9	5.5	10,308	5.0	11,089,127.4	5.7	△ 0.9
小 児 科	12,938	6.2	9,075,476.2	4.6	11,787	5.7	8,627,189.3	4.4	9.8
外 科	15,191	7.3	31,447,512.6	15.8	14,658	7.1	29,236,201.8	15.1	3.6
整 形 外 科	32,525	15.7	17,705,397.5	8.9	34,032	16.4	19,365,394.3	10.0	△ 4.4
脳 神 経 外 科	3,662	1.8	3,245,151.6	1.6	3,032	1.5	1,688,554.2	0.9	20.8
皮 膚 科	13,139	6.3	4,456,286.6	2.2	13,375	6.4	4,953,570.3	2.6	△ 1.8
泌 尿 器 科	14,733	7.1	14,803,217.7	7.5	14,904	7.2	14,685,452.3	7.6	△ 1.1
産 婦 人 科	12,193	5.9	9,477,348.7	4.8	12,918	6.2	9,137,064.5	4.7	△ 5.6
眼 科	9,465	4.6	5,763,854.5	2.9	9,874	4.8	6,744,194.6	3.5	△ 4.1
耳 鼻 咽 喉 科	13,589	6.6	8,696,493.2	4.4	15,128	7.3	9,608,042.7	4.9	△ 10.2
精 神 科	3,808	1.8	2,035,448.9	1.0	3,971	1.9	2,134,871.9	1.1	△ 4.1
歯 科 口 腔 外 科	8,639	4.2	4,764,633.7	2.4	8,152	3.9	4,459,346.1	2.3	6.0
リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 科	2,546	1.2	1,161,459.2	0.6	2,165	1.0	981,910.1	0.5	17.6
放 射 線 科	318	0.2	862,425.6	0.4	311	0.1	831,443.1	0.4	2.3
麻 酔 科	3,891	1.9	1,922,730.0	1.0	4,161	2.0	2,165,794.4	1.1	△ 6.5
合 計	207,342	100.0	198,666,068.7	100.0	207,450	100.0	194,120,760.0	100.0	△ 0.1

エ 職員配置状況は、表 8 に示すとおりである。

表 8

職員配置状況年度末比較表

(単位：人)

年度 区分	平成 2 4 年度	平成 2 3 年度	平成 2 2 年度	対前年度増減
医 師	46	44	44	2
看 護 職 員	190	188	195	2
医 療 技 術 職 員	45	42	40	3
事 務 職 員	23	22	21	1
そ の 他 の 職 員	0	0	0	0
合 計	304	296	300	8

- ・当年度末職員総数は、304人で前年度末296人と比べ、8人(2.7%)の増加となっている。
- ・当年度末医師数は、46人で前年度末44人と比べ、2人(4.5%)の増加となっている。
- ・当年度末看護職員数は、190人で前年度末188人と比べ、2人(1.1%)の増加となっている。
- ・当年度末医療技術職員数は、45人で前年度末42人と比べ、3人(7.1%)の増加となっている。
- ・当年度末事務職員は、23人で前年度末22人と比べ、1人(4.5%)の増加となっている。

注 看護職員：助産師、看護師、准看護師

医療技術職員：薬剤師、診療放射線技師、臨床検査技師、理学療法士、作業療法士、臨床工学技士、栄養士

その他の職員：用務員

(3) 薬品及び貯蔵品について

ア 薬品使用効率は、表9に示すとおりである。

- ・薬品使用効率は、62.7%で前年度63.8%と比べ、1.1ポイントの減少となっている。
- ・投薬薬品使用効率は、62.9%で前年度69.8%と比べ、6.9ポイントの減少となっている。
- ・注射薬品使用効率は、62.6%で前年度62.7%と比べ、0.1ポイントの減少となっている。

表9

薬品使用効率年度比較表

(単位：%)

区 分 \ 年 度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	備 考
薬品使用効率	62.7	63.8	62.1	投薬注射薬品収入／ 投薬注射薬品費×100
投薬薬品使用効率	62.9	69.8	87.9	投薬薬品収入／ 投薬薬品費×100
注射薬品使用効率	62.6	62.7	48.0	注射薬品収入／ 注射薬品費×100

イ 薬品の管理について

薬品の管理は、入庫から出庫まで薬品管理システムで記録し事務の迅速化が図られ、毒薬、劇薬等は薬事法に基づき普通薬品と明確に区別して保管されており、良好な管理下にあるものと認められた。

ウ 貯蔵品額等の年度比較は次のとおりである。

- ・貯蔵品額は、薬品5,530万2千円で前年度4,315万円と比べ、1,215万2千円(28.2%)の増加となっている。
- ・資産減耗費のうち棚卸資産減耗費は、270万1千円で前年度208万4千円と比べ、61万7千円(29.6%)の増加となっている。

3 資本的収入及び支出について

(1) 資本的収支状況について

ア 資本的収支状況は、表10に示すとおりである。

- ・資本的収入は、6億3,487万9千円で前年度6億4,666万5千円と比べ1,178万6千円（1.8%）の減少となっている。

〈対予算収入率100.0%〉

- ・資本的支出は、7億5,031万8千円で前年度7億6,582万8千円と比べ、1,551万円（2.0%）の減少となっている。

〈対予算執行率97.9%〉

イ 資本的収入を項別にみると、次のとおりである。

- ・都補助金は、7,261万2千円で前年度1億7,283万7千円と比べ、1億22万5千円（58.0%）の減少となっている。
- ・出資金は、3億8,525万5千円で前年度3億4,271万3千円と比べ4,254万2千円（12.4%）の増加となっている。
- ・寄附金は、20万円で前年度と同一である。
- ・企業債は、1億7,680万円で前年度1億3,090万円と比べ、4,590万円（35.1%）の増加となっている。

ウ 資本的支出を項別にみると、次のとおりである。

- ・建設改良費は、3億6,292万1千円で前年度4億43万2千円と比べ、3,751万2千円（9.4%）の減少となっている。
- ・助産師、看護師貸付金は、261万1千円で前年度273万円と比べ、11万9千円（4.3%）の減少となっている。
- ・企業債償還金は、3億8,457万4千円で前年度3億6,245万1千円と比べ、2,212万2千円（6.1%）の増加となっている。
- ・基金積立金は、21万2千円で前年度21万4千円と比べ、2千円（0.9%）の減少となっている。

表10

資本的収支状況年度比較表

(単位：円：%)

区 分 科 目	平成24年度		平成23年度		対前年度	
	決算額 (A)	構成比	決算額 (B)	構成比	増減額 (A)－(B)	比率
資本的収入	634,879,251	100.0	646,665,425	100.0	△ 11,786,174	△ 1.8
都補助金	72,612,000	11.4	172,837,272	26.7	△ 100,225,272	△ 58.0
出資金	385,255,000	60.7	342,713,000	53.0	42,542,000	12.4
寄附金	200,000	0.0	200,000	0.0	0	0.0
基金積立金 利	12,251	0.0	15,153	0.0	△ 2,902	△ 19.2
企業債	176,800,000	27.8	130,900,000	20.2	45,900,000	35.1
他会計補助金	0	0.0	0	0.0	0	0.0
他会計からの 長期借入金	0	0.0	0	0.0	0	0.0

資本的支出	750,317,967	100.0	765,827,704	100.0	△ 15,509,737	△ 2.0
建設改良費	362,920,740	48.4	400,432,344	52.3	△ 37,511,604	△ 9.4
助産師、看 護師貸付金	2,611,400	0.3	2,730,000	0.4	△ 118,600	△ 4.3
企業債償還金	384,573,576	51.3	362,451,287	47.3	22,122,289	6.1
基金積立金	212,251	0.0	214,073	0.0	△ 1,822	△ 0.9

エ 企業債償還状況は、表11に示すとおりである。

表11

企業債償還状況

(単位：円)

発行総額	償 還 額		平成24年度末 現 在 高
	当年度償還額	償還額累計	
10,801,700,000	384,573,576	2,289,990,876	8,511,709,124

(2) 建設改良工事について

当年度建設改良工事はなかった。

(3) 有形固定資産の購入状況について

有形固定資産購入状況は、表12に示すとおりである。

医療器械等購入費は、3億6,292万1千円で前年度4億43万2千円と比べ、3,751万2千円(9.4%)の減少となっている。

表12

有形固定資産購入状況表（1機100万円以上）

品名	数量	メーカー・規格	購入額（円）	設置場所	納入年月日
コッドマンバイポーラ イリゲーションシステム	1	ジョンソン・エンド・ジョンソン(株) マリスCMCⅢバイポーラ凝固切開装置	4,935,000	手術室 (脳神経外科)	H24.5.30
イーマックス2プラス本体キット	1	ユフ精器 イーマックス2プラスモーター	8,161,650	手術室 (脳神経外科)	H24.5.30
ベッドサイドモニター	1	日本光電 PVM-2701他	1,050,000	4階東病棟	H24.8.31
歯科デジタイザー	1	ヨシダ ピスタスキャンミニ	2,100,000	歯科口腔外科	H24.9.3
血管造影X線診断装置 一式	1	フィリップス他 Cardiovascular X-ray Allura XperFD20他	124,425,000	放射線科 (血管撮影室)	H24.9.27
メディカルレコーダー	1	日本ストライカー HVO-1000MDメディカルレコーダー	1,699,950	手術室 (脳神経外科)	H24.10.2
電動式骨手術器械 (オサダサージェリーサクセス1p)	1	長田電機工業 OSS-1p-I	1,386,000	手術室 (歯科口腔外科)	H24.10.11
人工腎臓装置及び関連機器一式	1	日機装 他 DAB-20NX 他	44,950,500	内科 (人工透析室)	H24.11.25
医療の質・総合安全管理システム	1	セーフマスター インシデント管理システム	4,462,500	医療安全管理室	H24.11.25
生理検査システム一式	1	日本光電 他 PrimeVita 他	55,965,000	生理検査室	H24.11.30
手術支援ナビゲーションシステム	1	日本メドトロニック 973-SYSJ	20,947,500	手術室 (脳神経外科)	H24.12.7
過酸化水素低温プラズマ滅菌器	1	ジョンソン・エンド・ジョンソン(株) ステラッド100NX	19,950,000	手術室	H24.12.28
超音波血流計	1	(株)ハデコ DVM-4500	1,496,250	手術室 (脳神経外科)	H25.1.30
体水分モニタリングと栄養関連情報管理システム	1	(株)バイオスペース InBody S10	2,163,000	内科	H25.2.25
スチームコンベクションオープン	1	(株)ラショナル・ジャパン CMP201ガス式	2,310,000	栄養科	H25.3.1
ベッドパンウォッシャー	1	小川医理器(株) TOPLINE TP20 2AP/AT	1,547,385	看護科	H25.3.21
角膜内皮観察解析装置	1	(株)コーナン・メディカル FA-3809	3,045,000	眼科	H25.3.21
X線骨密度測定装置	1	GEヘルスケア・ジャパン(株) PRODIGY C	9,229,500	放射線科	H25.3.22
自動染色装置	1	サクラファインテックジャパン(株) DRS-Prisma-JOS	3,549,000	検査科	H25.3.22
高圧蒸気滅菌装置	1	(株)ウドノ医機 SHS-R1413-D-FL/NS	23,835,000	手術室	H25.3.25
全自動化学発光免疫測定装置	1	アボットジャパン(株) ARCHITECT アナライザー i2000SR	7,875,000	検査科	H25.3.26
HFサージェリーシステム (電気メス)	1	オリンパス UES-40S ほか	2,919,000	手術室 (泌尿器科)	H25.3.28
器械浴	1	(株)アマノ SB8000N	5,540,325	看護科	H25.3.31
食器洗浄機	1	日本調理機(株) DWA2-5M	3,696,000	栄養科	H25.3.31

4 財政状況について

病院事業の財政状況は、表13に示すとおりである。

(1) 資産総額は、113億6,851万円で前年度114億9,250万円と比べ、1億2,398万9千円（1.1%）の減少となっている。

ア 固定資産は、95億6,853万4千円で前年度99億1,132万9千円と比べ、3億4,279万5千円（3.5%）の減少となっている。

(イ) 有形固定資産は、95億699万1千円で前年度98億5,112万9千円と比べ、3億4,413万8千円（3.5%）の減少となっている。内訳は、立木・建物・構築物は、前年度と同額である。器械備品は、35億

2,913万6千円で前年度34億6,347万4千円と比べ、6,566万2千円(1.9%)の増加、車両は、0円で前年度と同額である。なお、償却資産は、減価償却を行っている。

(イ) 無形固定資産は、10万2千円で前年度と同額である。

イ 流動資産は、17億9,997万6千円で前年度15億8,117万円と比べ、2億1,880万6千円(13.8%)の増加となっている。

(ア) 現金預金は、4億9,633万4千円で前年度3億6,475万5千円と比べ、1億3,157万8千円(36.1%)の増加となっている。

(イ) 未収金は、12億4,245万8千円で前年度11億5,438万8千円と比べ、8,807万1千円(7.6%)の増加となっている。

(ウ) 貯蔵品は、5,530万2千円で前年度4,315万円と比べ、1,215万2千円(28.2%)の増加となっている。

(エ) 前払金は、0円で前年度319万1千円と比べ、皆減となっている。

(オ) その他流動資産は、588万3千円で前年度1,568万7千円と比べ、980万4千円(62.5%)の減少となっている。

ウ 繰延勘定は、0円で前年度と同一である。

(2) 負債総額は、12億5,304万5千円で前年度13億6,017万4千円と比べ、1億712万9千円(7.9%)の減少となっている。

ア 固定負債は、6億9,961万3千円で前年度と同一である。

退職給与引当金、修繕引当金、他会計借入金は、いずれも前年度と同額である。

イ 流動負債は、5億5,343万2千円で前年度6億6,056万2千円と比べ、1億712万9千円(16.2%)の減少となっている。

(ア) 未払金は、5億4,745万3千円で前年度6億5,432万6千円と比べ、1億687万2千円(16.3%)の減少となっている。

(イ) 医業前受金は、475万円で前年度506万3千円と比べ、31万3千円(6.2%)の減少となっている。

- (ウ) その他流動負債は、122万9千円で前年度117万3千円と比べ、5万6千円(4.8%)の増加となっている。
- (3) 資本総額は、101億1,546万5千円で前年度101億3,232万5千円と比べ、1,686万円(0.2%)の減少となっている。
- ア 資本金は、153億5,019万5千円で前年度151億7,271万4千円と比べ、1億7,748万1千円(1.2%)の増加となっている。
- (ア) 自己資本金は、68億3,848万6千円で前年度64億5,323万1千円と比べ、3億8,525万5千円(6.0%)の増加となっている。
- (イ) 借入資本金は、85億1,170万9千円で前年度87億1,948万3千円と比べ、2億777万4千円(2.4%)の減少となっている。
- イ 剰余金は、△52億3,473万円で前年度△50億4,038万9千円と比べ、1億9,434万1千円(3.9%)の減少となっている。
- (ア) 資本剰余金は、17億9,550万3千円で前年度18億6,704万8千円と比べ、7,154万5千円(3.8%)の減少となっている。主なものは、国庫補助金2億929万7千円で前年度と同額、都補助金13億4,251万4千円で前年度14億1,427万2千円と比べ、7,175万8千円(5.1%)の減少、他会計補助金1億9,240万円で前年度と同額となっている。
- (イ) 欠損金は、70億3,023万3千円で前年度69億743万7千円と比べ、1億2,279万6千円(1.8%)の増加となっている。

表13

比較貸借

科 目	借 方									
	平成24年度					平成23年度			平成22年度	
	金 額	構成比	対前年度		金 額	構成比	対前年度 比率	金 額	構成比	
			増減額	比率						
固定資産	9,568,534,302	84.2	△ 342,794,833	△ 3.5	9,911,329,135	86.2	△ 1.7	10,086,868,606	88.6	
有形固定資産	9,506,991,374	83.6	△ 344,137,964	△ 3.5	9,851,129,338	85.7	△ 1.8	10,029,254,882	88.1	
土地	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	
立木	34,986,000	0.3	0	0.0	34,986,000	0.3	0.0	34,986,000	0.3	
建物	12,156,289,428	106.9	0	0.0	12,156,289,428	105.8	0.0	12,156,289,428	106.8	
構築物	113,258,350	1.0	0	0.0	113,258,350	1.0	0.0	113,258,350	1.0	
器械備品	3,529,135,769	31.0	65,661,880	1.9	3,463,473,889	30.1	6.9	3,241,268,110	28.5	
車両	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	
減価却 累計額	6,326,678,173	△ 55.7	409,799,844	6.9	5,916,878,329	△ 51.5	7.3	5,516,547,006	△ 48.5	
無形固定資産	101,508	0.0	0	0.0	101,508	0.0	0.0	101,508	0.0	
電話加入権	101,508	0.0	0	0.0	101,508	0.0	0.0	101,508	0.0	
投資	61,441,420	0.5	1,343,131	2.2	60,098,289	0.5	4.5	57,512,216	0.5	
長期貸付金	10,149,800	0.1	1,129,800	12.5	9,020,000	0.1	35.7	6,648,000	0.1	
基金	51,291,620	0.5	213,331	0.4	51,078,289	0.4	0.4	50,864,216	0.4	
流動資産	1,799,976,184	15.8	218,805,772	13.8	1,581,170,412	13.8	22.3	1,292,780,445	11.4	
現金預金	496,333,546	4.4	131,578,250	36.1	364,755,296	3.2	56.3	233,430,712	2.1	
未収金	1,242,458,175	10.9	88,070,592	7.6	1,154,387,583	10.0	17.6	981,227,230	8.6	
貯蔵品	55,301,584	0.5	12,151,709	28.2	43,149,875	0.4	△ 27.7	59,663,253	0.5	
前払金	0	0.0	△ 3,190,658	皆減	3,190,658	0.0	0.8	3,165,250	0.0	
保管有価証券	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	
その他流動資産	5,882,879	0.1	△ 9,804,121	△ 62.5	15,687,000	0.1	2.6	15,294,000	0.1	
繰延勘定	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	
新病院建設費	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	
資産合計	11,368,510,486	100.0	△ 123,989,061	△ 1.1	11,492,499,547	100.0	1.0	11,379,649,051	100.0	

対 照 表

(単位：円：％)

科 目	貸 方										
	平成24年度					平成23年度			平成22年度		
	金 額	構成比	対前年度		金 額	構成比	対前年度 比率	金 額	構成比		
			増減額	比率							
負 債 の 部	固定負債	699,612,635	6.2	0	0.0	699,612,635	6.1	7.0	653,823,486	5.7	
	退職給与引当金	34,162,221	0.3	0	0.0	34,162,221	0.3	2,715.9	1,213,196	0.0	
	修繕引当金	65,450,414	0.6	0	0.0	65,450,414	0.6	24.4	52,610,290	0.5	
	他会計借入金	600,000,000	5.3	0	0.0	600,000,000	5.2	0.0	600,000,000	5.3	
	流動負債	553,432,361	4.9	△ 107,129,192	△ 16.2	660,561,553	5.7	6.3	621,278,390	5.5	
	一時借入金	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	
	未払金	547,453,361	4.8	△ 106,872,192	△ 16.3	654,325,553	5.7	6.3	615,581,970	5.4	
	医業前受金	4,750,000	0.0	△ 313,000	△ 6.2	5,063,000	0.0	14.1	4,437,420	0.0	
	預り有価証券	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	
	その他流動負債	1,229,000	0.0	56,000	4.8	1,173,000	0.0	△ 6.8	1,259,000	0.0	
	負債合計	1,253,044,996	11.0	△ 107,129,192	△ 7.9	1,360,174,188	11.8	6.7	1,275,101,876	11.2	
	資 本 の 部	資本金	15,350,195,335	135.0	177,481,424	1.2	15,172,713,911	132.0	0.7	15,061,552,198	132.4
		自己資本	6,838,486,211	60.2	385,255,000	6.0	6,453,231,211	56.2	5.6	6,110,518,211	53.7
借入資本		8,511,709,124	74.9	△ 207,773,576	△ 2.4	8,719,482,700	75.9	△ 2.6	8,951,033,987	78.7	
企業債		8,511,709,124	74.9	△ 207,773,576	△ 2.4	8,719,482,700	75.9	△ 2.6	8,951,033,987	78.7	
剰余金		△ 5,234,729,845	△ 46.0	△ 194,341,293	3.9	△ 5,040,388,552	△ 43.9	1.7	△ 4,957,005,023	△ 43.6	
資本剰余金		1,795,502,968	15.8	△ 71,545,499	△ 3.8	1,867,048,467	16.2	5.6	1,768,531,342	15.5	
国庫補助金		209,297,237	1.8	0	0.0	209,297,237	1.8	0.0	209,297,237	1.8	
都補助金		1,342,514,111	11.8	△ 71,757,750	△ 5.1	1,414,271,861	12.3	7.5	1,315,969,889	11.6	
他会計補助金		192,400,000	1.7	0	0.0	192,400,000	1.7	0.0	192,400,000	1.7	
寄附金		51,061,475	0.4	200,000	0.4	50,861,475	0.4	0.4	50,661,475	0.4	
基金積立金 利息		230,145	0.0	12,251	5.6	217,894	0.0	7.5	202,741	0.0	
欠損金		7,030,232,813	△ 61.8	122,795,794	1.8	6,907,437,019	△ 60.1	2.7	6,725,536,365	△ 59.1	
当年度未 処理欠損金		7,030,232,813	△ 61.8	122,795,794	1.8	6,907,437,019	△ 60.1	2.7	6,725,536,365	△ 59.1	
資本合計	10,115,465,490	89.0	△ 16,859,869	△ 0.2	10,132,325,359	88.2	0.3	10,104,547,175	88.8		
負債資本合計	11,368,510,486	100.0	△ 123,989,061	△ 1.1	11,492,499,547	100.0	1.0	11,379,649,051	100.0		

第3 意見・要望等

平成24年度市立病院事業会計決算における損益の状況は、経営健全化に向けて病床利用率の向上、赤字体質からの脱却に向けて、病院一丸となって「日野市立病院改革プラン（経営健全化計画）」に取り組んだ結果、純損失額は1億2,279万6千円となり、前年度1億8,190万1千円と比較すると5,910万5千円（32.5%）減少した。

病院利用状況は、入院患者数8万7,705人で、前年度比1.2%減少した。病床利用率は80.1%で、前年度比0.8ポイント減少した。外来患者数は20万7,342人で、前年度比0.1%減少した。

収益的収支の状況は、病院事業収益が73億3,443万4千円で、前年度比2.9%増加した。うち医業収益は62億9,179万7千円で、前年度比4.4%増加した。医業収益のうち、入院収益は40億7,362万4千円で、前年度比6.0%増加した。外来収益は19億8,666万1千円で、前年度比2.3%増加した。入院収益、外来収益ともに、増加の理由は1人当たり単価が増加したことによるものである。

病院事業費用は74億5,723万円で、前年度比2.0%増加した。うち医業費用は72億7,623万6千円で、前年度比2.2%増加した。主な医業費用の増減内訳は、給与費が2.5%の増加、材料費が4.6%の増加、経費が3.5%の減少となっている。

資本的収入及び支出の状況は、資本的収入が6億3,487万9千円で、前年度比1.8%減少した。今年度は企業債1億7,680万円を借り入れた。

資本的支出は7億5,031万8千円で前年度比2.0%減少した。うち有形固定資産購入費は3億6,292万1千円で、耐用年数が経過した医療機器の購入を行った。企業債償還金は3億8,457万4千円である。

平成24年度の市立病院の経営成績は、純損失額が前年度と比較して5,910万5千円（32.5%）減少し、大幅な経営改善が図られたが、未だ1億2,279万6千円の赤字決算となっている。また、平成24年度末未処理欠損金は70億3,023万3千円に増加した。

主な経営指標で前年度と市立病院改革プランの目標数値との比較をしてみると、経常収支比率は98.4%で、前年度比0.9ポイントの増加であったが、目標値に比べると4.6ポイント下回った。

医業収支比率は92.5%で、前年度比2.4ポイントの増加であったが、目標値に比べると4.8ポイント下回った。

給与費対医業収益比率は42.7%で、前年度比1.8ポイントの減少であったが、目標値に比べると3.3ポイント上回った。

材料費対医業収益比率は21.6%で、前年度と同一であったが、目標値に比べると4.1ポイント下回った。

病床利用率は80.1%で、前年度比0.8ポイントの減少で、目標値に比べると8.3ポイント下回った。

医療を取り巻く環境が大きく変化する中で、公立病院の経営状況は極めて厳しい状況に置かれているが、地域の中核病院として、引き続き経営改善に取り組むとともに、良質な医療を継続して提供できる体制を構築することを期待する。

平成24年度は市立病院改革プランの最終年度であった。病院一丸となって改革プランに取り組んできた結果、入院収益、外来収益ともに改善が見られ、純損失額は、改革プラン初年度の平成20年度には7億9,448万9千円あったものが、平成24年度は1億2,279万6千円にまで減少した。しかし残念ながら、目標数値を達成し、赤字を解消するには至らなかった。平成25年度以降の第2次改革プランに期待するものである。

平成24年度の決算審査においては次の点を要望する。

1 経営指標のさらなる改善に向けて

病院一丸となって日野市立病院改革プランに取り組み、経営改善及び意識改革に努めた結果、改革プラン実施前と比較すると大幅に改善しているが、今後さらに改善するために、今般策定された第2次改革プランが着実に実行されることを期待する。収益については、地域の中核病院として救急医療へ取り組み、救急車受け入れの増加及び患者紹介率の向上を図り、また、より効率的な病院運営をめざし、病床利用率の増加及び7対1看護体制をはじめとする診療報酬の単価アッ

プが図られることを期待する。費用については、引き続き、薬品等の在庫管理の徹底を図るとともに、委託経費についても内容及び方法を十分に精査して頂きたい。

2 会計制度の見直しについて

平成26年度の予算編成より、地方公営企業会計基準の見直しが行われ、現行の企業会計原則を最大限取り入れた改正が行われることとなっている。

この会計基準の見直しにあわせて、現金主義会計から発生主義会計に変更することにより、これまで検討してきたように、当月の稼働収益を当月の成績として表示し、正しい期間損益計算を通じてリアルタイムの経営判断ができるようになるものと期待するものである。

〔注〕 主な経営指標は「地方公営企業決算の状況」の数値を使用し、消費税額を含まないため、決算数値とは異なる。

参 考

収益的収入及び支出等の推移

(単位：円：％：ポイント)

年 度 内 訳		平成24年度	平成23年度	平成22年度	対前年度			
					増減額	比率	増減	
医業収益（A）		6,291,796,621	6,027,920,325	6,082,447,854	263,876,296	4.4	—	
内 訳	入院収益	4,073,624,328	3,842,839,243	3,801,251,986	230,785,085	6.0	—	
	外来収益	1,986,660,687	1,941,207,600	2,060,992,511	45,453,087	2.3	—	
	その他医業収益	231,511,606	243,873,482	220,203,357	△ 12,361,876	△ 5.1	—	
繰 入 金	一般会計 繰入金	負担金 交付金	491,927,000	490,845,000	494,683,000	1,082,000	0.2	—
		補助金	0	34,146,000	22,685,000	△ 34,146,000	△ 100.0	—
	国庫補助金	2,949,000	3,007,000	3,016,000	△ 58,000	△ 1.9	—	
	都補助金	432,977,000	465,675,920	401,355,097	△ 32,698,920	△ 7.0	—	
	合 計	927,853,000	993,673,920	921,739,097	△ 65,820,920	△ 6.6	—	
	医業費用（B）		7,276,236,298	7,121,088,570	7,242,933,711	155,147,728	2.2	—
職員給与費（C）		3,603,466,206	3,516,310,792	3,380,523,620	87,155,414	2.5	—	
職員給与費 対医業収益比率C/A		57.3	58.3	55.6	—	—	△ 1.1	
病床利用率		80.1	80.9	78.8	—	—	△ 0.8	
医業収支比率 A/B		86.5	84.6	84.0	—	—	1.8	